

【基本的性格】

日本の株式を中心に運用します。主に中長期的な視点から銘柄を選定し、TOPIX（東証株価指数）を上回ることを目標に運用します。公社債のみで運用する場合よりも高いリターンが期待できるものの、リスクも高いファンドです。組入れ上限の目安としては、外貨建資産への投資は行わず、日本株式は95%としています。

【8月の運用概況】

国内株式部分は、建設業、小売業セクターのウェイトを引き上げる一方、繊維製品、ガラス・土石製品セクターのウェイトを引き下げました。

【当面の運用方針】

国内株式市場では、当面は貿易摩擦に対する不透明感や、新興国通貨安などへの警戒感が上値を抑える可能性があります。しかし、これらの問題の実体経済への影響が徐々に明らかとなるに従い、好業績を背景とする上昇基調に回帰していく展開を想定しています。信用リスク等に留意しながら、割安度分析に基づいた個別銘柄選択を継続する方針です。

【現物資産評価額】 7,326百万円 2018年8月末現在

【現物資産構成比】		【株式銘柄】 (上位10銘柄)	
日本株式 (除く先物)	91.5%	KDDI	3.2%
現預金・コール	8.4%	日本電信電話	3.1%
その他	0.1%	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.9%
先物含み損益	-	本田技研工業	2.9%
【日本株式ポートフォリオ】		トヨタ自動車	2.6%
現物資産	91.5%	東日本旅客鉄道	2.4%
先物建玉	-	デンソー	2.3%
合計	91.5%	三井住友フィナンシャルグループ	2.3%
【業種別構成比】	(上位4業種)	日本たばこ産業	2.3%
輸送用機器	11.9%	第一生命ホールディングス	2.3%
情報通信	9.2%		
電気機器	7.1%		
銀行業	6.9%		

株式型 インデックス (14/8末を1とした場合)



【直近6か月運用実績】	18/08	18/07	18/06	18/05	18/04	18/03
インデックス値	1.4514	1.4608	1.4323	1.4410	1.4856	1.4210
月次利回り(対前月)	▲0.6%	2.0%	▲0.6%	▲3.0%	4.5%	▲2.7%
資産評価額	7,326	7,375	7,245	7,296	7,539	7,221

(※インデックス値は2014/8を1として算出 資産評価額の単位は百万円)

【経過年別運用実績】	直近6か月	直近1年	直近2年	直近3年	直近4年	設定来
騰落率	▲0.9%	7.7%	32.4%	20.5%	42.4%	199.7%
日経平均騰落率	3.6%	16.4%	35.4%	21.0%	48.2%	▲28.4%
対日経平均比	▲4.5%	▲8.7%	▲3.0%	▲0.6%	▲5.9%	228.1%

【契約年月別・年平均利回り】	2017/9/1	2016/9/1	2015/9/1	2014/9/1	2013/9/1	1990/8/1 (設定来)
〈月払契約〉	0.1%	7.7%	8.9%	7.7%	8.2%	4.9%
〈一時払契約〉	7.7%	15.1%	6.4%	9.2%	10.7%	4.0%

(※ファンドの利回りです。保険料のすべてがファンドに投入されるわけではありません。)

お客様にご確認いただきたい事項

ご負担いただく費用などについてご確認ください。

- お払込みいただいた保険料のうち、その一部はご契約時およびご契約後に下記の費用等にあてられ、それらを除いた金額が特別勘定で運用されます。
 - 保険契約の締結、維持に係る費用
 - 特別勘定の運用に係る費用
 - 死亡保障などに係る費用
- ※ 控除される費用は、契約年齢・性別・保険料払込期間等により、契約ごとに異なるとともに、保険期間中変動します。そのため、費用の合計額や計算方法を表示することはできませんので、ご了承ください。
- 契約日から10年以内、かつ保険料払込期間中に解約・減額された場合、解約日の積立金額から経過年数に応じた所定の金額（解約控除）を控除した金額が解約返戻金額となります。
 - ※ 上記期間経過後は、積立金額と解約返戻金額は同額となります。
 - ※ 保険料払込方法が一時払の場合は、解約控除は発生しません。

運用リスクについてご確認ください。

- 変額保険は、保険金額や解約返戻金額が特別勘定資産の運用実績に基づいて増減する仕組みの生命保険です。
- 特別勘定資産は、日本の株式や公社債および外国の株式や公社債などで運用されます。そのため、株価や公社債価格の変動リスク、為替の変動リスク、信用リスクなどの運用リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる解約返戻金額が払い込まれた保険料の合計額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。なお、各特別勘定の運用方法は、以下のとおりです。
 - 国際型 外国の株式を中心に一部日本の株式を組入れ運用します。
 - 株式型 日本の株式を中心に運用します。
 - 総合型 日本の公社債・外国の公社債を中心に、一部日本の株式および外国の株式を組入れ運用します。
- 各特別勘定への繰入割合や積立金の構成割合を変更した場合には、選択した特別勘定の種類によっては運用対象や運用リスクの種類・大きさが異なることとなりますので、ご注意ください。
- 変額保険の主契約の死亡・高度障害保険金は、契約時に定めた基本保険金額が最低保証されますが、解約返戻金は最低保証されません。